

経営比較分析表（平成28年度決算）

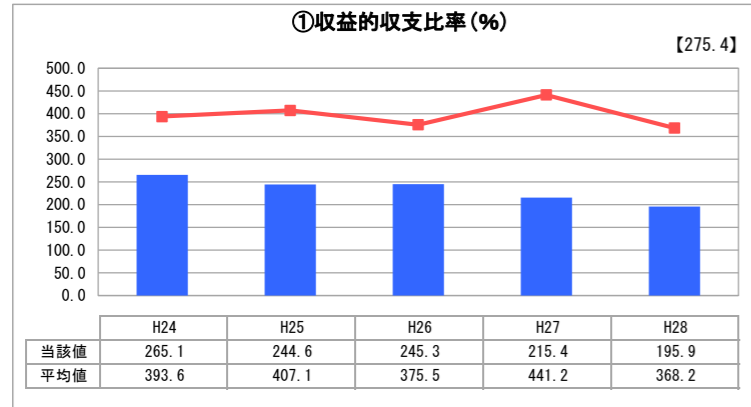
京都府八幡市 八幡市営駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 3 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	33	

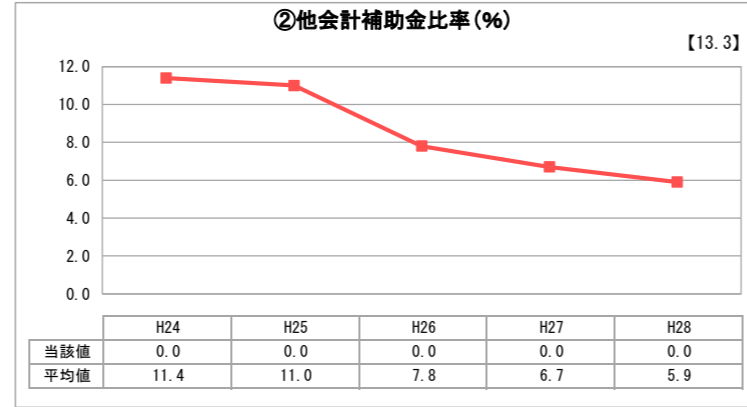
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(㎡)
駅	無	2,380
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
72	100	導入なし

グラフ凡例	
■	当該施設値（当該値）
—	類似施設平均値（平均値）
【	平成28年度全国平均

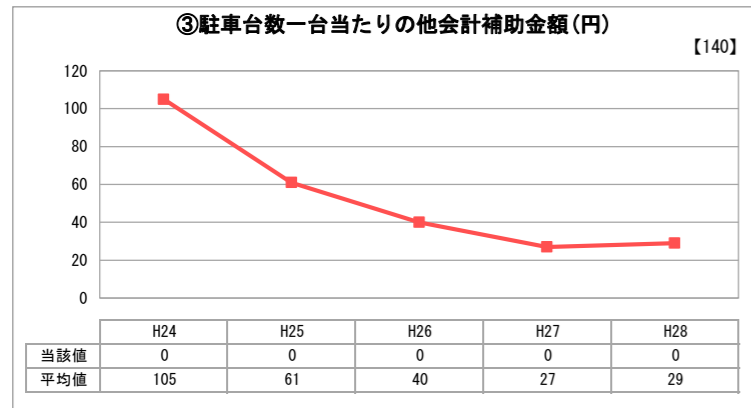
1. 収益等の状況



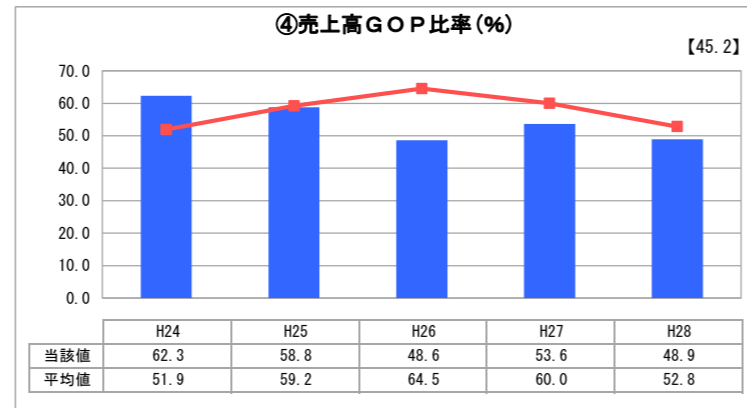
「経常損益」



「他会計補助金割合」

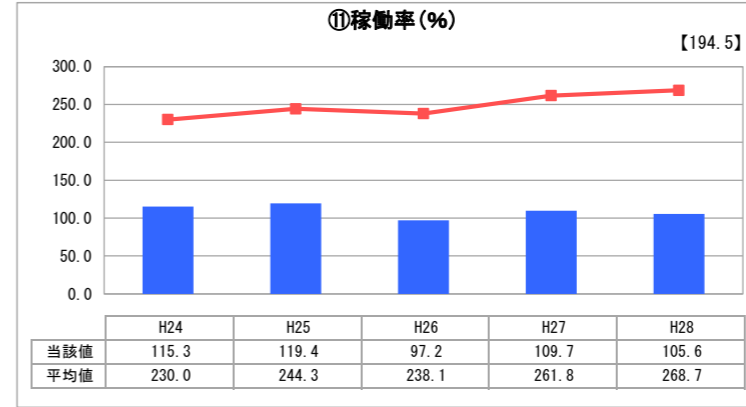


「他会計補助金額」

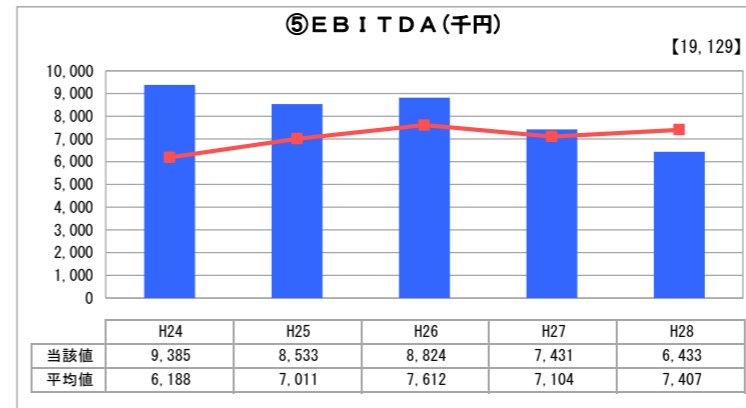


「売上高に対する営業総利益」

3. 利用の状況



「施設の効率性」



「減価償却前営業利益」

2. 資産等の状況

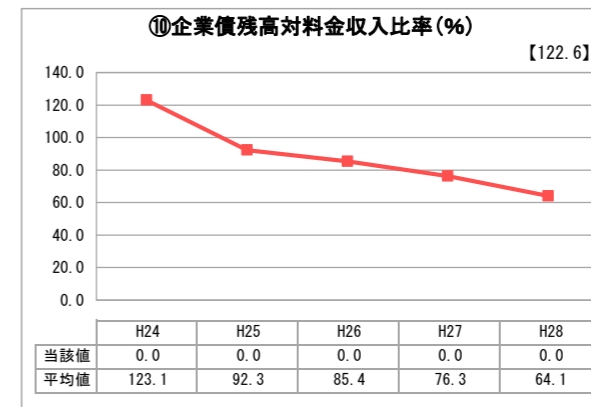


「施設全体の減価償却の状況」

⑦敷地の地価(千円)	78,811
⑧設備投資見込額(千円)	-



「累積欠損」



「債務残高」

分析欄

1. 収益等の状況について
 当該事業は、黒字の事業ではあるものの、平成24年から平成28年までで減少傾向にあり、年々収益性が低下している事業である。収益性が低下している理由としては、近隣に民間の駐車場が新設され、多少の影響はあるかもしれないが、年間を通じての利用台数は概ね横ばいであることから、1台あたりの平均駐車料金が下がっており、駐車場利用者の駐車時間が短くなっているものと考えられる。

2. 資産等の状況について
 企業債借り入れもなく、また、今後10年の大規模な設備投資の見込みもないが、今後健全な運営を行っていく上で見直していくべきところである。

3. 利用の状況について
 当該駐車場の稼働率について、概ね横ばいの傾向となっている。類似施設平均値と比較して、各年約半分以下となっている。稼働率が類似施設平均値の半分以下となっている理由として、当該駐車場周辺には、商業施設が集積しておらず、主に駅を利用する人が駅までの交通手段として車を利用する際に当該駐車場を利用すること、また、駅に近接しているが、特急列車が停車しない駅であることなどから、稼働率が低い水準にあると考えられる。

全体総括

当該事業は、収益的収支比率が100%以上であるため、黒字の事業ではあるが、収益性は減少傾向にある。また、当該事業は稼働率が低い水準となっているが、駅に近接しており、駅前付近の違法駐車防止に資するものである。収益的収支比率を向上させるためには、本市の駐車場整備事業の営業費用はこれ以上の削減が難しいと考えられることから、収益である使用料収入の増加を図り、経営改善を図っていく必要があると考える。